



宝剣岳カール斜面のミヤマクロユリ H29.7.24
7月下旬に中央アルプス北部を歩いて来ました。信州は学校登山が今でも盛んで、新田次郎が書いた「聖職の碑」の舞台となった将棋頭山から木曾駒、宝剣岳を挟んだ檜尾岳までを霧と雨の中歩きました。

ミヤマクロユリは宝剣岳カール斜面にひっそり咲いていました。多年草で地下に鱗茎があり茎は10～20cm程で中部以北高山帯に分布している。北海道では平地でも草丈が50cmにもなるエゾクロユリが見られアイヌ料理では鱗茎をコメと混ぜて食されている。

Woodluck